

北海道小平高等養護学校



『夢に向かって挑戦し
未来を切り拓く人を育成する』

令和 6 年度

学 校 要 覧

〒078-3442 北海道留萌郡小平町字鬼鹿田代577番地2

TEL(0164) 57-1203・(0164) 57-1204 (FAX兼用)

<http://www.obirakoutouyouto.hokkaido-c.ed.jp/>

E-mail onne@hokkaido-c.ed.jp

北海道小平高等養護学校の概要

本校は、北海道新教育長期総合計画後期実施計画の一環として、保護者、地域のニーズに応え、後期中等教育の機会拡充を図るために、平成8年4月に開校しました。

開校以来、生徒たちの「職業自立」と「社会自立」を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた専門性の高い教育の充実を図っています。また、留萌管内唯一の特別支援学校として、特別支援教育のセンター的機能を担っています。

校章について



- 1 平成8年4月1日に定める。
- 2 開校にあたり初代校長手代木莊司が意匠を発案する。
- 3 意匠……外郭は北海道小平高等養護学校の「小平」と「太陽」を表している。外郭と五角形の間にある半円は「海」を、五角形の中にある2本線は「緑の里」をそれぞれ表している。
また、海、太陽、緑の里から受けるイメージを、海は「広い心」太陽は「意欲及び活動源」緑の里は「優しい心」にそれぞれ置き換えて、生徒が健やかに育つことを願っている。
内郭の五角形は、本校教育の指標である「心」「体」「働く」「学ぶ」「創る」の5つを表し、生徒の心身の成長・発達が調和的であり、「職業自立」と「社会自立」を目指し、たくましく生きぬいていく力が育つことを期待している。

校歌

北海道小平高等養護学校

校歌

作詞 手代木 莊司
作曲 石 塚 智 彦
編曲 石 塚 真 美

- | | | |
|---|--|--|
| 一 | 二 | 三 |
| 緑やさしい
笑顔のあいさつ
明るく学ぶ
豊かな心
明日を夢みて | 陽光まぶしい
集う若者
自ら学ぶ
優しい心
明日を夢みて | 風雪きびしい
虹のかけ橋
生き方学ぶ
丈夫な体
明日を夢みて |
| 小平の里に
響き合い
喜びに
つくります
歩こうよ | 温寧の丘に
共に生き
楽しさに
つくります
歩こうよ | 歴史の里に
共にあり
たくましく
つくります
歩こうよ |

沿革の概要	
-------	--

平成6年度	11月30日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期新築外構工事竣工
	3月25日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期寄宿舍棟新築工事竣工
平成7年度	6月8日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第1期校舎新築工事竣工
	10月1日	手代木荘司他5名開校事務取扱発令
	11月15日	(仮称)北海道道北地区高等養護学校第2期新築外構工事竣工
	12月28日	北海道条例第54号により北海道小平高等養護学校を設置
平成8年度	3月25日	第2期校舎新築・屋内体育館新築・第2期新築外溝工事竣工
	4月1日	初代校長 手代木 荘司、他職員52名発令
	4月17日	第1回入学式(生活園芸科8名、生活窯業科7名、木工科8名、クリーニング科8名、計31名)
	6月7日	開校式並びに校舎落成記念祝賀会
	3月14日	柔剣道場新築・水泳プール及び上屋新築工事竣工
平成9年度	4月10日	第2回入学式(生活園芸科8名、生活窯業科8名、木工科6名、クリーニング科6名、計28名)
平成10年度	4月9日	第3回入学式(生活園芸科2名、木工科6名、クリーニング科7名、計15名)
	3月7日	第1回卒業証書授与式(生活園芸科8名、生活窯業科6名、木工科8名、クリーニング科7名、計29名)
平成11年度	4月1日	第2代校長 中西 毅発令
	4月9日	第4回入学式(生活園芸科2名、生活窯業科2名、木工科5名、クリーニング科5名、計14名)
	3月5日	第2回卒業証書授与式(生活園芸科7名、生活窯業科8名、木工科6名、クリーニング科6名、計27名)
平成12年度	4月11日	第5回入学式(生活園芸科7名、生活窯業科7名、木工科4名、クリーニング科3名、計21名)
	3月4日	第3回卒業証書授与式(生活園芸科2名、木工科6名、クリーニング科7名、計15名)
平成13年度	4月10日	第6回入学式(生活園芸科3名、生活窯業科3名、木工科4名、クリーニング科6名、計16名)
	4月20日	小平オンネ風力発電所(小平はつでんくん)発電式
	11月22日	公開研究会開催
	3月3日	第4回卒業証書授与式(生活園芸科2名、生活窯業科2名、木工科4名、クリーニング科5名、計13名)
平成14年度	4月1日	第3代校長 齊藤哲男発令
	4月9日	第7回入学式(生活園芸科6名、生活窯業科5名、木工科1名、クリーニング科2名、計14名)
	3月9日	第5回卒業証書授与式(生活園芸科7名、生活窯業科7名、木工科3名、クリーニング科3名、計20名)
平成15年度	4月9日	第8回入学式(生活園芸科5名、生活窯業科4名、木工科5名、クリーニング科4名、計18名)
	3月7日	第6回卒業証書授与式(生活園芸科3名、生活窯業科3名、木工科4名、クリーニング科6名、計16名)
平成16年度	4月9日	第9回入学式(生活園芸科8名、木工科5名、クリーニング科6名、計19名)
	2月22日	平成16年度留萌管内教育実践表彰受賞、留萌管内教育課程実践研究論文表彰
	3月6日	第7回卒業証書授与式(生活園芸科4名、生活窯業科5名、木工科1名、クリーニング科2名、計12名)
平成17年度	4月1日	第4代校長 鎌田 篤発令
	4月11日	第10回入学式(生活園芸科9名、木工科4名、クリーニング科5名、計18名)
	7月9日	開校10周年記念式典・公開研究会開催
	3月4日	第8回卒業証書授与式(生活園芸科5名、生活窯業科4名、木工科5名、クリーニング科4名、計18名)
平成18年度	4月11日	第11回入学式(生活園芸科8名、木工科3名、クリーニング科6名、計17名)
	3月3日	第9回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科5名、クリーニング科6名、計19名)
平成19年度	4月10日	第12回入学式(生活園芸科8名、木工科9名、クリーニング科8名、計25名)
	3月8日	第10回卒業証書授与式(生活園芸科9名、木工科4名、クリーニング科5名、計18名)
平成20年度	4月9日	第13回入学式(生活園芸科8名、木工科6名、クリーニング科8名、計22名)
	3月7日	第11回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科3名、クリーニング科6名、計17名)
平成21年度	4月1日	第5代校長 木村 誠発令
	4月9日	第14回入学式(生活園芸科8名、木工科8名、クリーニング科7名、計23名)
	11日	小平オンネ風力発電所(小平はつでんくん)、落雷による故障のため撤去
	3月6日	第12回卒業証書授与式(生活園芸科8名、木工科9名、クリーニング科8名、計25名)

平成22年度	4月1日	産業科開設
	4月9日	第15回入学式（木工科5名、クリーニング科8名、産業科8名、生活園芸科8名、計29名）
	3月5日	第13回卒業証書授与式（木工科6名、クリーニング科8名、生活園芸科8名、計22名）
平成23年度	4月1日	第6代校長 島 まゆみ発令
	4月11日	第16回入学式（木工科8名、クリーニング科9名、産業科8名、生活園芸科8名、計33名）
	3月3日	第14回卒業証書授与式（木工科8名、クリーニング科7名、生活園芸科8名、計23名）
平成24年度	4月10日	第17回入学式（木工科7名、クリーニング科8名、産業科3名、生活園芸科8名、計26名）
	3月9日	第15回卒業証書授与式（木工科5名、クリーニング科8名、産業科8名、生活園芸科7名 計28名）
平成25年度	4月9日	第18回入学式（木工科6名、クリーニング科4名、産業科8名、生活園芸科8名、計26名）
	3月7日	第16回卒業証書授与式（木工科8名、クリーニング科8名、産業科8名、生活園芸科8名 計32名）
平成26年度	4月1日	第7代校長 矢野 光男発令
	4月9日	第19回入学式（木工科6名、クリーニング科8名、産業科8名、生活園芸科8名、計30名）
	3月1日	第17回卒業証書授与式（木工科7名、クリーニング科8名、産業科3名、生活園芸科8名 計26名）
平成27年度	4月9日	第21回入学式（木工科7名、クリーニング科5名、産業科8名、生活園芸科8名、計28名）
	11月19日	20周年記念公開授業研究会
	3月5日	第18回卒業証書授与式（木工科6名、クリーニング科4名、産業科8名、生活園芸科8名 計26名）
平成28年度	4月1日	第8代校長 野村 俊夫発令
	4月11日	第21回入学式（木工科1名、クリーニング科6名、産業科7名、生活園芸科5名、計19名）
	3月4日	第19回卒業証書授与式（木工科6名、クリーニング科8名、産業科8名、生活園芸科8名 計30名）
平成29年度	4月11日	第22回入学式（木工科8名、クリーニング科3名、窯業科5名、園芸科2名 計18名）
	2月5日	平成30年度留萌管内教育実践表彰受賞
	3月3日	第20回卒業証書授与式（木工科7名、クリーニング科5名、産業科6名、生活園芸科8名 計26名）
平成30年度	4月1日	第9代校長 田近 和寛発令
	4月10日	第23回入学式（木工科5名、クリーニング科1名、窯業科2名、園芸科5名 計13名）
	3月9日	第21回卒業証書授与式（木工科1名、クリーニング科6名、産業科6名、生活園芸科5名、 計18名）
平成31年度	4月9日	第24回入学式（木工科6名、クリーニング科4名、窯業科7名、園芸科2名 計19名）
	3月31日	第22期生卒業（木工科8名、クリーニング科3名、窯業科5名、園芸科2名 計18名）
令和元年度	6月14日	大規模改修工事（第1期）着工
	2月14日	大規模改修工事（第1期）竣工
令和2年度	4月13日	第25回入学式（クリーニング科4名、窯業科4名 計8名）
	6月26日	大規模改修工事（第2期）着工
	3月12日	第23回卒業証書授与式（木工科5名、窯業科2名、園芸科4名 計11名）
	3月15日	大規模改修工事（第2期）竣工
令和3年度	4月1日	第10代校長 源 一広発令
	4月13日	第26回入学式（木工科4名、クリーニング科1名、窯業科4名 計9名）
	4月30日	大規模改修工事（第3期）着工
	1月13日	大規模改修工事（第3期）竣工
	3月4日	第24回卒業証書授与式（木工科5名、クリーニング科4名、窯業科7名、園芸科2名、計18名）
令和4年度	4月12日	第27回入学式（木工科4名、クリーニング科2名、窯業科2名 計8名）
	3月3日	第25回卒業証書授与式（クリーニング科3名、窯業科4名、計7名）
令和5年度	4月1日	第11代校長 齋藤 利文発令
	4月10日	第28回入学式（木工科6名、クリーニング科2名、窯業科5名 計13名）
	3月1日	第26回卒業証書授与式（木工科4名、クリーニング科1名、窯業科4名、計9名）
令和6年度	4月9日	第29回入学式（木工科4名、窯業科4名 計8名）

学校経営計画

北海道小平高等養護学校 校長 齋藤 利文

<本校が社会に果たす役割(スクールミッション)>

本校は、北海道における今後の特別支援教育の充実に向けて、社会情勢の変化や国の動向を把握するなど、現状と課題を整理し、新たな「特別支援教育に関する基本方針」(令和5年3月)に基づき障がいのある子どもと障がいのない子どもがともに学ぶ共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、全ての子どもたちが、障がいの有無にかかわらず、多様な個性を互いに認め合い、支え合いながら、ともに学んでいくことができる環境を醸成し、誰もが生き生きと働く生活を送ることのできる社会の実現の具現化と人材を育成します。

1 校訓

「笑顔・助け合い・学び合い」

2 学校教育目標

夢に向かって挑戦し 未来を切り拓く人を育てる

3 グラデュエーションポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- ・夢の実現に向けて、自ら考え、判断し、行動し、好奇心を持ち何事にも挑戦できる生徒の育成
- ・一人一人の違いを理解し、他者を尊重できる生徒の育成
- ・情報を収集し、自分の考えや伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献できる生徒の育成

4 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

教科等の横断的視点から教育課程の充実を図り、生徒の障害の実態や特性及び心身の発達の段階に応じて、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む)、問題発見・解決能力の学習の基盤の向上努める。

- (1) 職業教育を主とする専門学科や、総合的な探求の時間の充実に努め、各教科等で培われた資質・能力を総合的に関連づけながら、実際の・体験的な学習や、具体的な指導内容を設定して、自己の在り方生き方を考えながら自ら課題解決する機会を拡充して、主体的にかつ協働的に取り組む態度ができるよう工夫する。
- (2) 各教科等の特性を踏まえ、生徒間の対話等を通して考えさせ、表現させる授業や新たな気づきや発見のある授業場面を通して、自ら学びに向かって深く掘り下げることで、多様な場面に対応が可能である知識や技能を獲得できるよう工夫する。
- (3) 全教育活動を通して、生徒が学ぶことと自己の未来とのつながりを意識し、キャリア発達を促すキャリア教育の充実をし、一人一人の社会的・職業的自立につながるよう工夫する。

5 アドミッション・ポリシー(入学する生徒像に関する方針)

- (1) 特別支援学校高等部における学習内容等を理解し、学ぶ意欲がある生徒

令和6年度 北海道小平高等養護学校 学校経営方針

<目指す生徒像>

- 1 様々な情報を収集し、活用する。
- 2 様々な場面における言葉の意味や使い方を理解し、活用する。
- 3 目標をもち達成に向けて計画的に行動する。
- 4 感情をコントロールする。
- 5 ルールを理解し、参加する。
- 6 自分の困り感を相手に伝える。
- 7 他者の立場や役割を尊重する。
- 8 自らの考えを伝え、他者との意見や、理解の相違を課題として認識し、解決する。
- 9 共通の目標の達成に向けて他者と協働する。
- 10 危機への備えや、日常生活の自己管理をする。

<教育活動・指導の重点>

- 1 生徒の実態把握に基づく適切な指導の徹底
 - (1) 障害の種類や特性、程度に応じた指導の徹底
 - (2) 発達段階に応じた指導の徹底
 - (3) 個別の指導計画に基づく適切な指導
 - (4) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の指導の充実
- 2 作業学習、道徳、総合的な探究の時間の指導内容・指導方法の充実
- 3 教育相談体制の充実
- 4 人権尊重の理念に立った生徒指導の実施
- 5 ICTを活用とした多様学習の実現
 - (1) 授業における活用
 - (2) 寄宿舎における活用
 - (3) 居住地における活用
- 6 防災教育の充実
- 7 地域を活用した寄宿舎における教育活動の充実

<校訓>

「笑顔・助け合い・学び合い」

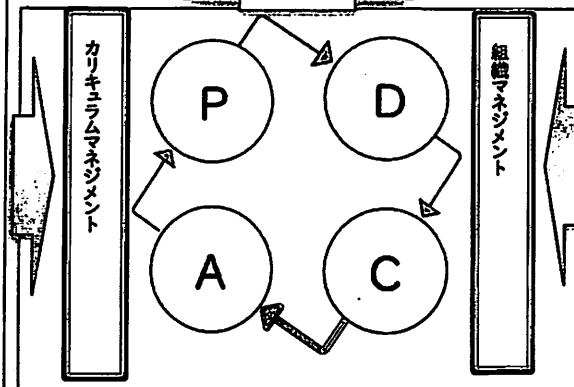
<学校教育目標>

夢に向かって挑戦し、未来を切り拓く人材を育成する。

夢の実現に向けて目標をもち、何事にも挑戦し、一人一人の違いを理解し自分の考えや伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献する生徒の育成

育成する資質・能力

情報を収集する力	コミュニケーション力
他の人を理解する力	自己を理解する力
協働する力	地域で生活する力



重点教育目標(研究テーマ)

主体的・対話的で深い学びの授業づくりの推進
～個別最適な学びと協働的な学びによる教育活動の充実～

<目指す教師像>

- 1 時代に応じた教育、学校の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たす。
- 2 人権意識に基づき、全ての子どもを尊重するとともに、職場全体の意識が高まるような働きかけをする。
- 3 学校の課題を理解し、組織的・協働的な体制づくりの重要性を深めるとともに、適切な情報の活用、再構成を通して、求められた資質・能力を高めるため学び続ける。
- 4 学習者中心の授業の創造に向けて、指導計画を立案し、授業力向上に努める。
- 5 主体的・対話的で深い学びが求められる背景や、重要性を理解し、授業改善する。
- 6 子ども心身の発達の過程や特徴、取り巻く環境や、背景を含め的確に理解する。
- 7 授業や校務等で、ICTを効果的に活用する。
- 8 学校の経営方針を生徒や、保護者、地域等に分かりやすく伝えるときに、相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い良好な人間関係を構築する。
- 9 全体的な視野に立ち、ほかの教職員とも協働しながら、組織の一員として積極的に学校づくりに関わり、持続可能な課題解決にあたる。
- 10 人材育成の重要性を踏まえ、互いの課題や悩みに気づき、環境整備に努める。

<経営の方針・重点>

- 1 教職員一人一人が、本校職員としての誇りを持ち、それぞれの 特性を発揮し、相互理解と協働による業務を推進します。
- 2 学年、分掌、学舎等が、日常的な連携を密にし、機能的で持続可能な組織の充実に努めます。
- 3 学校課題に即応するための校務の整理と体制づくりを図ります。
- 4 授業の充実を目指し、教職員の専門的力量や授業力の向上を図るための研修の充実に努めます。
- 5 新学習指導要領に基づく、教育課程の編成・充実・改善に努めます。
- 6 ICT 機器の活用と学習保障の機会の設定に努めます。
- 7 学校運営協議会によると地域の参画による多様な教育活動の推進をします。
- 8 センターの機能の充実におけた課題の整理し、留萌管内における特別支援教育の充実に努めます。
- 9 寄宿舎の教育活動が未来の生活につながるよう「魅力ある寄宿舎」を構築します。
- 10 人材育成をする持続可能な仕組みを構築します。

2 教育課程

(1) 日課表

ア 第1学年

	月	火	水	木	金
8:35	生徒登校				
8:45	S H R ・ 更衣				
9:00 9:50	全校朝会/ L H R	体力づくり	体力づくり	体力づくり	体力づくり
10:00 10:50	総合			国語	作業
10:55 11:45	職業			生活科学	
11:50 12:40	美術				
給食・昼休み					
13:25 14:15	音楽	数学	数学	保健体育	S H R
14:20 15:10	生活科学	国語	委員会/ 生活科学		下校13:40
15:30	掃除 S H R			掃除 S H R	

イ 第2学年

	月	火	水	木	金
8:35	生 徒 登 校				
8:45	S H R ・ 更 衣				
9:00 9:50	全校朝会/ L H R	体力づくり	体力づくり	体力づくり	体力づくり
10:00 10:50	英 術	結 合	作 業	作 業	環 境
10:55 11:45	作 業	数 学			国 語
11:50 12:40		音 楽			数 学
	給 食 ・ 登 休 み				
13:25 14:15 14:20 15:10	作 業	保健体育	国 語	生活科学	S H R
			委員会/ 生活科学		下校13:40
15:30	掃 除 S H R			掃 除 S H R	

ウ 第3学年

	月	火	水	木	金
8:35	生 徒 登 校				
8:45	S H R ・ 更 衣				
9:00 9:50	全校朝会/ LHR	体力づくり	体力づくり	体力づくり	体力づくり
10:00 10:50	国 語	作 業	英 術	作 業	国 語
10:55 11:45	数 学		生活科学		音 楽
11:50 12:40	綜 合				職 業
	給 食 ・ 昼 休 み				
13:25 14:15	保健体育	作 業	数 学	作 業	S H R
14:20 15:10			委員会/ 生活科学		下校13:40
15:30			掃 除 S H R		掃 除 S H R

エ 寄宿舎

曜日 時刻	月	火	水	木	金	日
6:30			起床・滑	掃除		
7:15			配膳			
7:30			朝食			
8:00			登校準備			
8:35			登校			
学 校 の 日 課						
13:30						帰 舎
13:40						
15:15						自由時間
15:30						
	入 浴 洗濯・自由時間	シャワー浴 洗濯・自由時間	入 浴 洗濯・自由時間	シャワー浴 洗濯・自由時間		
17:15			配 膳			
17:30			夕 食			
18:00			洗面・洗濯			洗面・洗濯 特別区域清掃 自由時間
18:30			特別区域清掃・自由時間			
19:00			集 会			
						就寝準備
21:00						就寝準備
21:40			消 灯 就 寝			

(4) 授業計画

ア 年間授業日数

	月	日数	学年	休業日				授業日数	備 考
				土・日	祝日	休業日	合計		
1 学期	4	30	1	6	1	9	16	14	1 学期始業式 4月8日
			2	6	1	8	15	15	入学式 4月9日
			3	6	1	8	15	15	
	5	31	1	8	3	1	12	19	職場見学 (1 学年) 5月15日
			2	8	3	1	12	19	見学旅行 (3 学年) 5月21日～24日
			3	8	3	1	12	19	現場実習 (2 学年 I 期) 5月27日～31日
	6	30	1	10	0	0	10	20	学校公開 6月13日
			2	10	0	0	10	20	体育大会 6月21日
			3	10	0	0	10	20	
	7	31	1	6	1	5	12	19	海浜学習 7月17日
			2	6	1	5	12	19	1 学期終業式 7月26日
			3	6	1	5	12	19	
2 学期	8	31	1	3	0	22	25	6	2 学期始業式 8月23日
			2	3	0	22	25	6	
			3	3	0	22	25	6	
	9	30	1	9	2	0	11	19	現場実習 (1～3 学年) 1 学年 9月9日～9月12日 2 学年 9月24日～10月4日 3 学年 9月9日～10月4日
			2	9	2	0	11	19	
			3	9	2	0	11	19	
	10	31	1	8	1	0	9	22	
			2	8	1	0	9	22	
			3	8	1	0	9	22	
	11	30	1	8	1	1	10	20	学校祭 11月9日
			2	8	1	1	10	20	
			3	8	1	1	10	20	
	12	31	1	7	0	7	14	17	2 学期終業式 12月24日
			2	7	0	7	14	17	
			3	7	0	7	14	17	
3 学期	1	31	1	2	0	21	23	8	3 学期始業式 1月21日
			2	2	0	21	23	8	
			3	2	0	21	23	8	
	2	28	1	8	2	0	10	18	総合学習成果報告会 2月14日
			2	8	2	0	10	18	
			3	8	2	0	10	18	
	3	31	1	8	1	7	16	15	卒業証書授与式 3月7日
			2	8	1	7	16	15	
			3	0	0	26	26	5	修了式 3月24日
合計	365		1	83	12	73	168	197	
			2	83	12	72	167	198	
			3	75	11	91	177	188	

イ 年間授業時数 (1 単位時間 50 分 35 週)

指導形態		木工科			クリーニング科		窯業科		
		1年	2年	3年			1年	2年	3年
各教科等を 合わせた授業	生活科学	175	140	140			140	140	140
	作業学習 (自学科)	315	350	350			350	350	350
	(他学科)	(301)	(336)	(350)			(336)	(350)	(350)
	(他学科)	(14)	(14)	(0)			(14)	(14)	(0)
	体力づくり	140	140	140			140	140	140
各教科の授業	小計	630	630	630			630	630	630
	国語	70	70	70			70	70	70
	数学	70	70	70			70	70	70
	保健体育	70	70	70			70	70	70
	音楽	35	35	35			35	35	35
	美術	35	35	35			35	35	35
	職業	35	35	35			35	35	35
	小計	315	315	315			315	315	315
	特別活動 (H R)	119	119	119			119	119	119
	総合学習	35	35	35			35	35	35
合計		1099	1099	1099			1099	1099	1099

ウ 年間行事予定

学期	月	行事	
		学 校 行 事	寄 宿 舎 行 事
1 学期	4	着任式、始業式、入学式、視力検査、歯科検診 聴力検査(1・3 学年)、二計測、内科検診 新入生歓迎会、学科歓迎会、授業参観・保護者懇談	新年度オリエンテーション、新入生歓迎会 新入生オリエンテーション、整列練習 フロア長会、尿検査(1)
	5	心臓結核検診(1 学年)、生徒面談、全校朝会、眼科検診 職場見学(1 学年)、歯科検診、見学旅行(3 学年)、 現場実習決意発表会(2 学年)、現場実習(2 学年Ⅰ期)	尿検査(2)、安全講習会、定例会 寮友会総会、舎室活動 新入生オリエンテーション、避難訓練
	6	眼科検診(1 学年)、2 学年現場実習報告会、学校公開、 避難訓練、生徒総会、交通安全教室、体育大会	舎室活動、外食、バス巡回 単独帰省帰舎オリエンテーション
	7	道の駅販売会、海浜学習、全校朝会 大掃除、終業式、授業参観・保護者懇談	定例会、レクリエーション会 大掃除、避難訓練
2 学期	8	始業式、二計測	
	9	現場実習決意発表会、現場実習	舎室活動、外食
	10	視力検査、色覚検査(1 学年)、現場実習報告会、生徒面談、 授業参観・保護者懇談、避難訓練、全校朝会	外食、舎室活動、定例会、外食会
	11	学校祭	外食、舎室活動、防犯訓練 バス巡回、単独帰省帰舎オリエンテーション
3 学期	12	全校朝会、立会演説会・生徒会役員選挙、 大掃除、終業式、授業参観・保護者懇談	大掃除、レクリエーション
	1	始業式、二計測、卒業・進級認定試験	定例会、バス巡回
	2	卒業生を送る会、学科送別会、全校朝会、 授業参観・保護者懇談(3 学年)、総合学習成果報告会	卒業を祝う会、 送別会、舎室活動、避難訓練
	3	卒業証書授与式、同窓会入会式 大掃除、修了式、離任式、授業参観・保護者懇談	大掃除、単独帰省帰舎オリエンテーション

(5) 生徒数

ア 学科別生徒数

学科		木工科	クリーニング科	窯業科	合 計
学年	性別				
1 年	男	4		4	8
	女	0		0	0
2 年	男	4	2	4	10
	女	2	0	0	2
3 年	男	3	1	2	6
	女	1	1	0	2
合 計		14	4	10	28

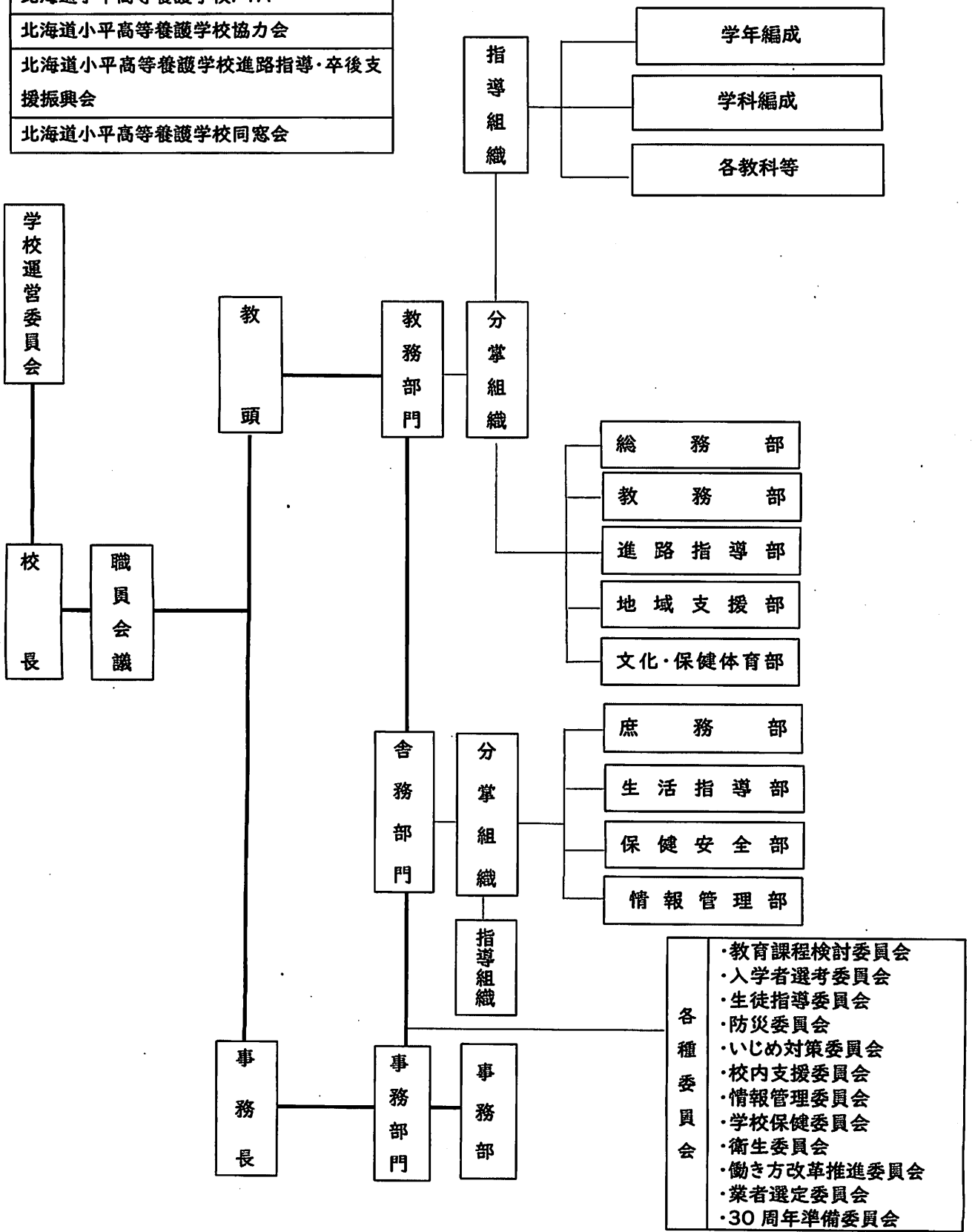
イ 出身地別生徒数

支 庁	留 萌				宗 谷	上 川			空 知		札 幌	合 計
	留 萌 市	増 毛 町	小 平 町	遠 別 町	幌 延 町	旭 川 市	当 麻 町	鷹 栖 町	沼 田 町	妹 背 牛 町	札 幌 市	
1 年	2	0	0	0	0	3	1	1	0	0	1	8
2 年	6	0	1	1	0	3	0	0	0	1	0	12
3 年	2	1	0	1	1	2	0	0	1	0	0	8
合 計	10	1	1	2	1	8	1	1	1	1	1	28

3 令和6年度北海道小平高等養護学校運営組織図

<関係団体>

北海道小平高等養護学校PTA
北海道小平高等養護学校協力会
北海道小平高等養護学校進路指導・卒後支援振興会
北海道小平高等養護学校同窓会



4 卒業進路先一覧

過去3年間の進路先一覧 (R3～R5) 24・25・26期卒業生

【留萌・道北地区】		【札幌・道央地区】	
留萌市	NPO 法人ほっとスペース HuG (B 型) 株式会社らいおんハート留萌 (B 型) マックスバリュ留萌店 (一般) 株式会社森商店 蛇の目 (一般) ツルハドラッグ留萌西店 (一般)	札幌市	手稲区 サツドラ手稲前田7条店 (一般)
			西区 特定非営利活動法人ライズ(B 型)
			白石区 株式会社シズナイロゴス(一般) 合同会社ビーズ(B 型)
遠別町	シダックス大新東ヒューマンサービス 株式会社 道の駅えんべつ富士見(一般)	中央区	特定非営利活動法人ワークーズコープ みんなののうち CoCo-BuLa(B 型) 草の実工房もく (B 型)
稚内市	卸売スーパー富岡ユアーズ店 (一般)		紀伊國屋書店 札幌本店 (一般)
【旭川・上川地区】		恵庭市	社会福祉法人 恵庭光風会 (B 型)
旭川市	社会福祉法人旭川旭親会 旭川福祉園(B 型) NPO 法人カムイ大雪バリアフリー研究所 チーム紅蓮(B 型) NPO 法人双葉福祉会多機能型障がい者 就労支援事業所ふたば(B 型) 特定非営利活動法人 キャリアエスコート (就労移行) 社会福祉法人旭川ねむのき会 ねむのき神居(就労移行) コーチャンフォー旭川店 (一般) 株式会社カンディハウス(一般) ザ・ビッグ緑が丘店 (一般)	千歳市	株式会社 JAL グランドサービス札幌(一般)
		江別市	株式会社 C&C ウェルフェア(移行支援)
		＜グループホーム・宿泊型自立訓練＞	
		グループホーム彩葉 (留萌市)	
		株式会社ユメトキボウ ハイム 713 (札幌市手稲区)	
		障害者グループホーム エムズイン西野(札幌市西区)	
東川町	株式会社 CLOVER はびふる(B 型)	グループホーム ライズ(札幌市)	
		宿泊型自立訓練ニューカトレア(江別市)	
富良野市	社会福祉法人富良野あさひ郷 サポートステーションすきっぷ(B 型)	社会福祉法人恵庭光風会 光風荘 (恵庭市)	
		株式会社アガベ 2 番館(千歳市)	
【空知地区】		グループホームアイリス(赤平市)	
		ケアホーム百翠(赤平市)	
		ライフサポート彩(富良野市)	
		＜一人暮らし＞	
滝川市	佐川急便株式会社 滝川営業所(一般)	ライフサポート住宅みどり(留萌市)	
赤平市	社会福祉法人北海道光生舎メディック・エル (A 型)		

5 地域のセンター的役割

～留萌管内唯一の特別支援学校として～

＜療育機関との連携＞

- 乳幼児の療育相談
- 留萌地域 (南部・中部・北部) 療育推進連絡会・自立支援協議会との連携
- 留萌地方教育支援委員会就学相談事業への協力

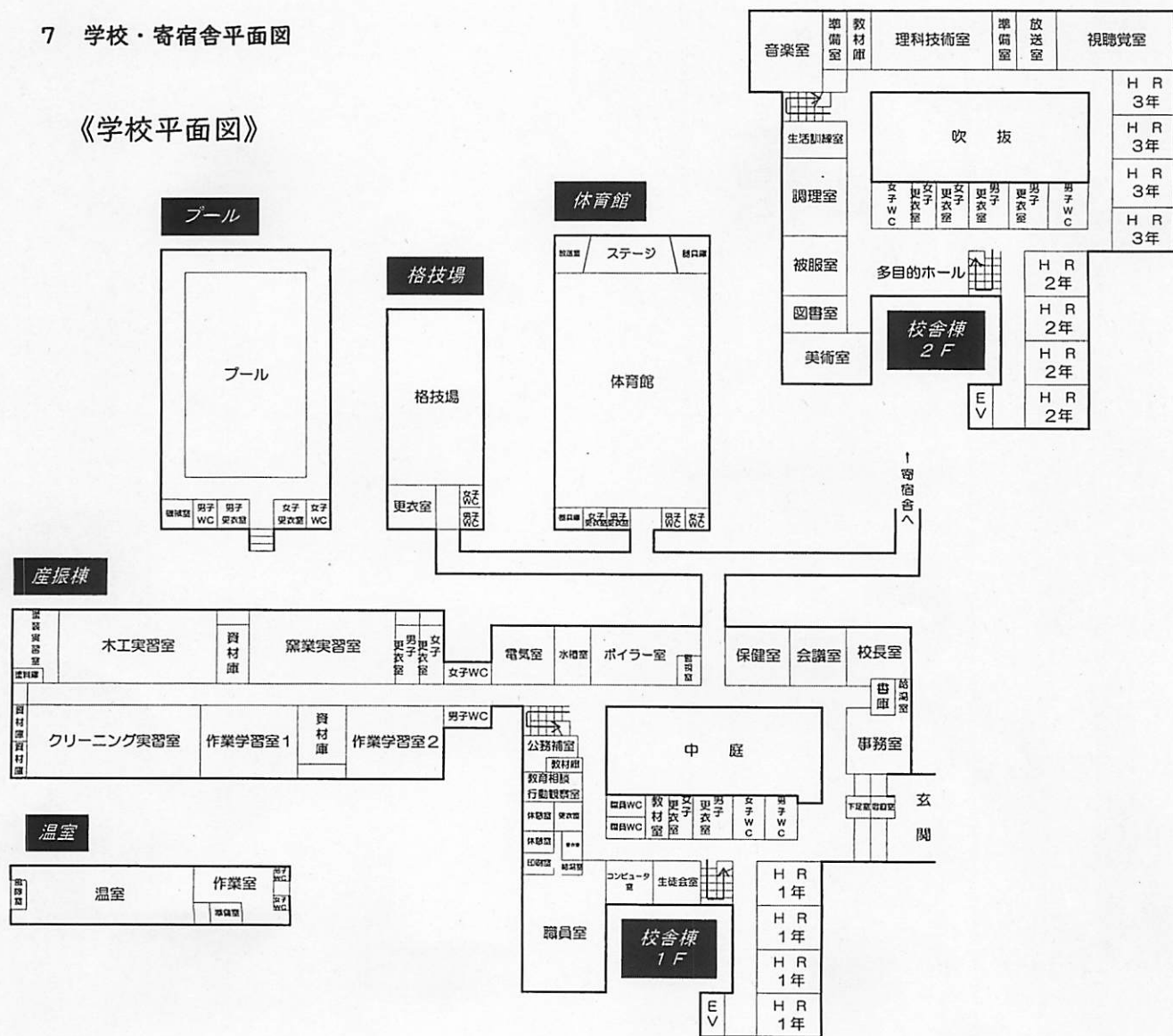
＜特別支援学級・通級指導教室・通常の学級への支援＞

- 教育相談の実施
- 留萌教育局専門家チームによる巡回相談の実施(発達検査、研修講師、指導助言)
- パートナーティーチャー派遣事業の実施
- 特別支援教育専門性向上セミナーの実施
- 研修会の実施・協力

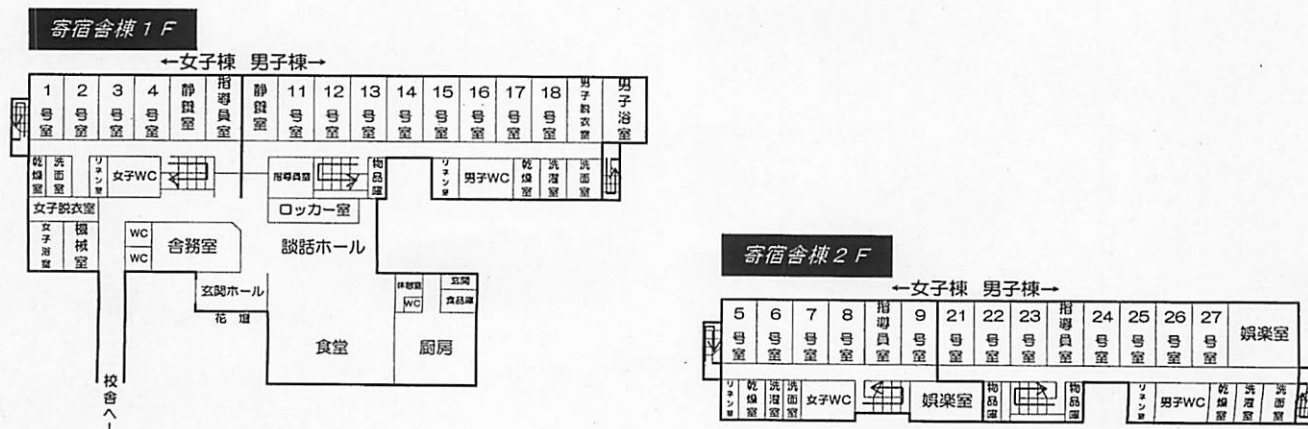
＜生徒の地域参加を支援する学校・地域の連携＞

- 管内小・中・高等学校との交流
- 学校間交流事業の推進
 - 【小平高等養護学校PTA】
 - 【小平高等養護学校協力会】
 - 【小平高等養護学校 学校運営協議会】
 - 【港町 | 区町内会】

《学校平面图》



《寄宿舍平面图》



8 入学案内

(1) 出願資格 知的障がいのある者で、特別支援学校の中学部または中学校を卒業した者
(令和7年3月末までに卒業見込みの者を含む)

(2) 募集人員 16名(予定)

学科名	木 工 科	窯 業 科
定 員	8 名	8 名

(3) 修業年限 3年

(4) 出願手続き (ア) 募集要項告示 北海道教育委員会公報(12月予定)
(イ) 募集要項配布 各高等養護学校から中学校、特別支援学校、市町村教育委員会に送付します。(12月予定)
(ウ) 入学願書受付 在学(出身)中学校、特別支援学校(中学部)等の校長を経由して提出していただきます。(1月上旬の予定)
(エ) 選 考 方 法 選考検査の結果及び個人調査書を総合的に評価し、選考します。

(5) 教育相談 今年度は6月から実施予定です。(事前にご連絡ください。)

～ 教 育 相 談 の ご 案 内 ～

「地域における特別支援教育のセンター的役割を果たしています」

進学に関わる相談 (教務部・地域支援部)

- ・ 本校あるいは高等養護学校に進学を希望している方
- ・ 学校を見学したい方
- ・ 本校への進学を希望し、学科選択について悩んでいる方

学びや育ちなどに関わる相談 (地域支援部)

- ・ ことばや落ち着きのなさなど発達に不安を感じる時
- ・ 家庭でのしつけやかかわり方などについて
- ・ 就学や進路の相談
- ・ 幼稚園・保育所や特別支援学級、通常の学級などにおける支援の方法について

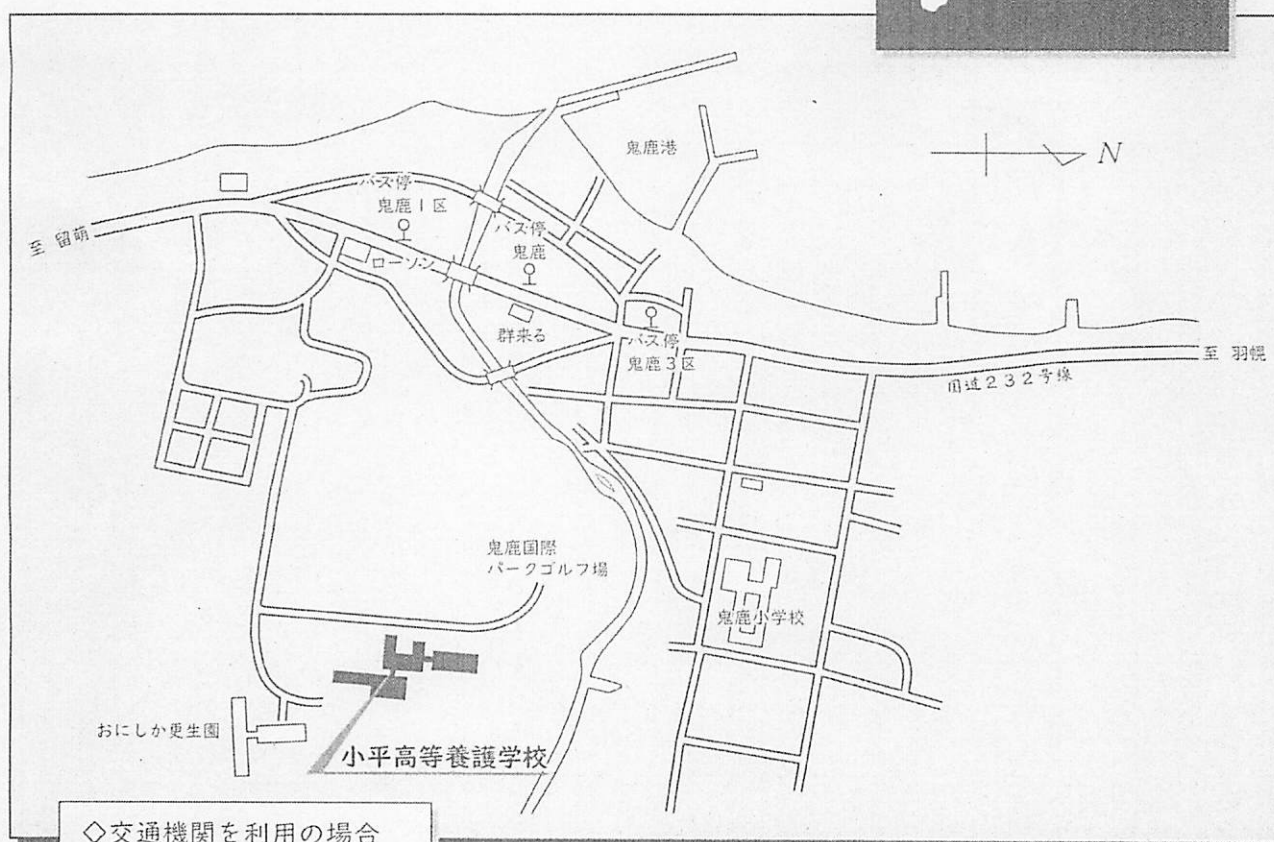
☆相談をご希望の方はお気軽にご連絡ください。

〒078-3442 北海道留萌郡小平町字鬼鹿田代 577 番地 2

TEL (0164) 57-1203 FAX (0164) 57-1204

E-mail onne@hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.obirakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



◇交通機関を利用の場合
(沿岸バス)

- ・留萌－鬼鹿1区－豊富
- ・札幌－鬼鹿

◇自家用車を利用の場合

- ・留萌より約30分
- ・道央自動車道深川JCT
より深川留萌自動車道
経由約75分
- ・羽幌より約40分